

令和8年9月2日

特別支援教室「学びの教室」

巡回指導拠点校・通級指導校

文京区立駒本小学校

校長 根来 郁明

文京区立汐見小学校(巡回校)

校長 山田 晴康

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575(ファクシミリ兼用)

通信

～この夏、見つけた!親子で楽しむ“遊び”の魅力～

さて早いもので夏休みも明けました。日常生活に戻り、ホッとしたご家庭、まだまだ夏休み気分が抜けないご家庭など、様々かと思います。皆様、楽しい夏休みを過ごせましたでしょうか。

夏休み中、東京おもちゃ美術館を訪れ、木のおもちゃや昔ながらのゲーム、工作など、さまざまなアナログの遊びに触れてきました。改めて、実際に体験してみると、アナログな遊びには、ただ「楽しい」だけでなく、「考える」「工夫する」「人と関わる」など、子どもたちの成長につながる学びがたくさんあることに気付きました。その中で、特に印象に残ったのが「立体四目並べ」です。

✧親子で楽しめる!「立体四目並べ」✧



立体四目並べは、2人で交互に駒を置き、縦・横・斜めのいずれかに同じ色の駒を4つ並べた人が勝ちとなるゲームです。

ルールはとてもシンプルですが、実際に始めてみると、目の前の一手だけを考えているだけでは、なかなか勝つことができません。

「ここに置いたら、次はどうなるかな?」

「相手はどこをねらっているのだろう。。」

「この駒は、別の方向から見るとどう並んでいるかな」

1つの駒を置くまでに、盤面を様々な角度から見ながら、その先の展開を考えます。楽しみながら、先を見通す力や空間を捉える力、相手の動きを予想する力などを働かせることができるゲームです。

自分の作戦通りに駒を並べられた時には、大きな達成感を味わえます。一方で、相手に先を越され、悔しい思いをすることもあります。そんな時も、「どうして負けたのかな」「次は違うところに置いてみよう」と振り返ることで経験を次の一手に活かすことができます。自分なりの作戦を考え、実際に試して確かめることが、試行錯誤する力や、あきらめずに挑戦する力へとつながっていきます。

また、相手と顔を合わせて遊ぶ中では、順番やルールを守ること、相手の様子を見ながら考えること、勝った喜びや負けた悔しさを受け止めることも経験します。遊びを通して、考える力だけでなく、人と関わる力や自分の気持ちを調整する力も育まれていきます。

※学びの教室にもミニチュア版がありますので、遊んでみたい子は先生に声をかけてくださいね。

<保護者の皆様へ① 2学期個人面談について>

10月は、前期と後期の切り替え時期に当たります。学年に関係なく、特別支援教室の利用児童の全ご家庭が面談の対象となります。後日配布いたします「個人面談日程希望調査票」の回収にご協力をお願いします。

<保護者の皆様へ② 特別支援教室継続検討願いについて>

特別支援教室継続検討願い【様式1-2】の書類を後日、「個人面談日程希望調査票」とあわせて配布いたします。来年度も継続して利用を希望される方は、必要事項をご記入の上、個人面談の際にご持参ください。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

9月のコミュニケーションタイムの主な学習予定

「サーキットトレーニング B」

今回も、特製のサーキットカードを手に、各運動コーナーを自分で回ります。暑い日が続いていますが、多目的ホールはエアコンが効いていて涼しいため、身体を動かすことを楽しみにしている子どもも多いようです。

●学習指導要領「自立活動」関連項目

- 5 身体の動き
 - (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること
- 6 コミュニケーション
 - (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

以上